

単
元
名

～社会とわたし～

太平洋のかけ橋

教科書出版社名 (学研教育みらい)

○ 小学校 (5) 年 教科等 (道徳)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

日本と世界との文化交流に尽力した先人の生き方から学ぶことを通して、他国の人々や文化について理解し、国際親善に努めようとする心情を育てる。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

伝記を読み、先人の生き方について理解したことを文章にまとめる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…先人の伝記の中から世界との文化交流に関わる情報を読み取る。
- 整理・分析…伝記に書かれている先人の生き方から読み取った情報や、他国の文化について知ったことを整理する。
- まとめ・表現・発信…先人の生き方から学んだこと、他国の文化について考えたことを文章にまとめ、交流する。

○ 学習の展開 (全2時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)
(単元の流れを簡潔に記入してください)

第1時 ☆	<ul style="list-style-type: none">・「太平洋のかけ橋」を読んで話し合い、新渡戸稲造の人物像をまとめる。・新渡戸稲造の生き方を支えた心について考える。・新渡戸稲造の生き方から学んだことを書く。・ほかにも新渡戸稲造のように日本と世界との文化交流に尽力した先人がいることを知る。・グループごとに日本と世界との文化交流に尽力した先人の伝記を選ぶ。
第2時 ☆	<ul style="list-style-type: none">・日本と世界との文化交流に尽力した先人の伝記を読む。・ワークシートを使って伝記に書かれた人物についてまとめ、その人物の生き方から学んだことを書く。グループの中で意見を交流し、プレゼンテーションの準備をする。・伝記に書かれた人物についてグループでまとめた文章を発表する。

(本時 2 / 2 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい

- ・伝記を読むことで日本と世界との文化交流に尽力した先人がたくさんいることを知る。
- ・先人たちの生き方から学ぶことを通して、他国の人々や文化について理解する。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 前時に選んだ伝記で、選んだ人物が同じ人で集まってグループを作る。	・前時に1人1冊ずつ伝記を選んでおき、読ませておく。
	伝記を読み、日本と外国のかけ橋となった人物についてまとめ、気づいたことをまとめよう。	
10	2. ワークシートに人物像をまとめ、その生き方から学んだことを書く。 ・本の中で、伝記に書かれた人物の生き方で印象的な部分に付箋をつけておく。 ・伝記に書かれた人物が残した言葉などで印象に残ったものを抜き書きする。 ・特に国際理解、国際交流、国際親善などに関わることで、気づいたことをまとめる。	・1人3枚ずつ付箋を渡しておく。(余分の付箋も準備しておく。)
15	・グループごとに集まって、意見をまとめる。 ・発表に向けてパワーポイントで1枚の発表資料を作る。	・伝記に書かれている人物の姿を入れるなど、視覚的にわかりやすい発表資料にするよう声掛けをする。
10	3. グループごとにまとめたことを発表する。 ・ワークシートをもとに、伝記に書かれた人物の生き方から学んだことについて考えたことを話す。	・プロジェクターでパワーポイントの資料を映し出す。
5	4. 振り返り ・グループの発表に対して感じたことを交流する。	

図書館活用
ポイント

